



【「月根尾」とは、学校のある地域の古名「突根尾原」に由来する地名です】



## 総合的な探究の時間

### 生命地域学

飯南町をフィールドとして、様々な体験学習や課題解決型学習を行っています。

「関わる力」「描く力」「発信する力」を身につけ、自らの人生を主体的に切り拓く力をつけることを目的としています。

1年生…「自分を知る、地域を学ぶ」

2年生…「自分を広げ、地域と学ぶ」

3年生…「自分を描く、地域に還す」

をテーマとして、様々なカリキュラムを組んでいます。

## 1年生 飯南町バスツアー

6/13

公民館主事の景山さん、高橋さん、加藤さん、菅さん、藤原さん、運転手の飯島さん、大年さん、ありがとうございました！

5月19日の「地域を知る」(HPをご覧ください)に続き、飯南町を広く浅く知る弾丸バスツアーに出かけました。飯南高校を出発し、「頓原→志々→来島→谷→赤名」の5つの地区を巡る旅路はハードな予感。生徒はスマートフォンやタブレットを手に、「おもしろそう」「なんでだろう」「なんか気になる」と感じた瞬間を写真に収めていきました。

知っているようで、あまり知らない飯南町を案内してくれたのは、5つの地区の公民館主事の皆さん。道中にある「魅力」や「資源」はもちろん、「飯南町あるある」「飯南町に住んでいるおもしろい人」などを、面白おかしく紹介してくれました。生徒は、初めて耳にする話があると、「へえ～、そうだったんだ！」などと口ずさんでいました。



▲バスの中では飯南町クイズも出題

最初にバスを降りたのは、昼食の時間。場所は出雲市との境「志津見ダム」。生徒は各々の場所に腰を下ろし、弁当をいただきました。その後、辺りを散策したり、生徒同士で写真を撮影したりして、志津見ダムを後にしました。

そして、最後にバスを降りたのは「谷笑楽校」。公民館主事さんの案内で、校舎の中を見学しながら、「おもしろそう」「なんでだろう」「なんか気になる」を探して回りました。

生徒は「生まれてから飯南町に住んでいるのに、知らないことがたくさんあった」「飯南町ってこんなにも広がったんだと気付けた」「今度は自分の足で地域に飛び出してみたい」などと話していました。



▲谷笑楽校で「飯南神楽団」の顔ハメパネル発見！

2年生

3年1組

## 課題研究

4月～

3年1組

## 発信する力

6/23

などなど、様々な学習を行っています。学校だよりに載りきれない授業や写真は飯南高校ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください！



島根大学教育学研究科 宮崎 紀雅 先生

今回の講演では、腕の組み方やクイズのような体験を通して、脳のタイプ別の特性（強み・弱み）や、そのタイプに合った学習の仕方を理解していきました。自分自身を知るだけでなく、誰にも特性があると知ることは、お互いの弱みを補い、強みを出し合いながらよりよい学校作りに繋げていけるということも分かりました。

自分の弱みをマイナスだと思わず、特性を受け入れることで気持ちが軽くなったり、対策を立てることができたりすると分かり、今後の学習への取り組み方を考えている生徒も多くいました。

学習や生活がより充実するように、特性を認め合える学校作りをしていけるように、今回の講演会で習った内容を生かしていきましょう。



▲何が書いてある？読める・読めないで脳タイプが違います

生徒の感想から

- 今回の講演会でたくさん勉強になった。私達には人それぞれ特性があるのでそれを個性と捉え受け入れていき、楽しい学校生活を送っていきたくと思った。この講演で自分に合った学習方法などもわかったので、これから活かしていきたい。
- 私は見て覚えるのが特性だということがわかった。いつもはあまりこういった自分自身のことについて知り、考えることがなかったが、今日の講演で自分の強み弱みについて深く考えることができ、自分自身を知るととても良い機会になった。これからの進路にも今日の話の思い出しながら、自分の強みを生かした仕事に就きたいと思った。人それぞれの特性を理解しながら、日々関わりを持っていきたい。
- 一人ひとり個性や特性、性格は違うので、みんなで認め合い、支え合うことが大事だと思った。自分と全く同じ考えを持つ人はいないと思うので、自分の考えもアピールして、人の考えもしっかり尊重していくことが大事だと思った。今回の講演会で自分の強みや弱みが分かったので、これからその力を伸ばしていこうと思う。他にもいろいろな人がいると思うので、もっといろいろな人と関わりを持ちたいと感じた。



後半のレクリエーションタイムでは、カードゲームを楽しみました。英語でルール説明をし、神経衰弱やババ抜き、ウノなどを通して笑顔がたくさん見られるようになりました。

この「みらい人材育成事業」は初の試みで、英語だけでコミュニケーションを取ることを目標に、必死で聞き取ったり、話したりと英語に集中して取り組む、とても良い時間となりました。ありがとうございました！

飯南町みらい人材育成事業 「島根大学留学生との交流会」

飯南町教育委員会主催の交流会に、ミシガン州立大学からの留学生や島根大学の大学生が来校され、2年2組の生徒が交流を行いました。

生徒は、事前に飯南町や島根県について自分が紹介したい内容をスライドにまとめ、英語で紹介できるよう準備していました。

3人グループの中に1人ずつ留学生に入ってもらい、「そば」「出雲大社」「しめ縄」など、一人ひとりが紹介を始めました。初めて紹介する時は表情が硬く、とても緊張していた生徒たちでしたが、留学生2人目、3人目と紹介を重ねるうちに、顔を見ながら話したり、ジェスチャーが増えたりと慣れていき、質問にも英語で懸命に答えようとしていました。

「町内の図書館で作ったアートパネルを学校図書館でも作ってみたい」という生徒の発案により企画し、15名の参加がありました。アートパネルは、クリアパネルやシートに絵を印刷、または描画し着色をして作ります。使用した絵は、公式サイトや作者が配布している絵本の一場面です。生徒は、OHPフィルムに印刷された絵を選びながら「懐かしい。何度も読んだ」など、幼い頃を振り返っていました。



着色では、時間が経つごとに集中し、自分だけのパネルを完成させることができました。参加した生徒からは「本当に楽しかった」「すごく集中してできた」「もっと綺麗に塗る方法を探したい」などの声がありました。

懐かしい絵本の話をしたり、色の工夫を考えたりと作業することで、心をほぐすことのできる企画となったのではないのでしょうか。図書委員会では、これからも本に関わるイベントを企画していきますので参加をお待ちしています！

野球部

壮行式

7月12日から始まる【第105回全国高等学校野球選手権島根大会】に出場する野球部に向けて、壮行式を行いました。

部長の原涼成さんは、「目標は甲子園に出場することです。去年の夏の大会では、先輩方が準優勝という素晴らしい結果を残してくださいました。ですが、私たちは準優勝という結果に満足したことは一度もありません。この一年は、準優勝という悔しい気持ちを常に持ち、決勝で勝ち切り、高校野球の聖地である、甲子園でプレーできるようなチーム作りを目指して日々、努力してきました。今年のチームは、長打を打てる人は少ないですが、一人一人が自分でどうするのかを理解し、繋いで点を取っていくチームです。3年生4人、2年生3人という人数でやってきましたが、今年の春に1年生が17人、入部しました。去年の夏を経験したメンバーを中心に、1年生の力を借りて全員野球で勝ち上がります。私たちが活動できているのは、地域の方々支援してくださっているからだと思っています。去年の夏に、あのような結果が残せたのも地域の方々支えてくださっているからです。ですので、地域の方々への感謝と、野球ができることへの感謝を忘れず、恩返しができるように戦います。」と、意気込みを語ってくれました。



自然科学部

島根県高文連自然科学部門実験観察研修会

3年ぶりに国立三瓶青少年交流の家において実験観察研修会が開催され、生徒2人が参加しました。

県内の高校から自然科学部が集まり、室蘭工業大学工学部の先生による実習や、サヒメルの学芸員の方による専門的な講座を体験して多くの刺激を受けました。他校の部員とのグループワークも協力しながら楽しく取り組むことができました。



▲「たまごパッケージコンテスト」・・・ダンボールとガムテープのみを使って、6個のたまごが割れないような梱包ケースを作成。ホール2階から落とし、割れなかった卵の数を競いました。

報道部

令和5年度NHK杯島根県高校放送コンテスト

【アナウンス部門】2名出場

【朗読部門】5名出場

錦織 快 決勝進出

【テレビドキュメント

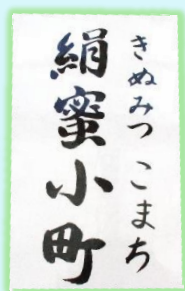
部門】1作品出品





「さつまいもパッケージデザイン」完成披露&贈呈式

昨年11月、飯南町花栗の農家「Tagosunふあ〜む」の福間友英さんから、ご自身が栽培しているさつまいもを全国でブランド展開したいので、「飯南町をPRするような題字やロゴを作成してほしい」という依頼をいただき、本校の書道同好会と美術クラブの生徒がミーティングや試作を重ねてきました。そしてこのたび、題字とロゴが完成し、披露&贈呈式を行いました。「全国に広げていくために“魅せ方”がとても重要」と福間さん。そういった想いを受けて、生徒達は題字やロゴをどのようにこだわってデザインしたのか発表しました。



▶ 飯南町の自然や“たらごさんふあ〜む”を絵に表して

▶ 柔らかいイメージやかわいい雰囲気を意識して

今後、このデザインをもとに、福間さんや飯南高校の想いを込めてオリジナルの焼き芋袋を作られるそうです。作成に携わった生徒は、「貴重な経験をさせていただいてありがたい。福間さんのおいしいお芋が、全国に広がってほしい。」と話していました。

最後に絹蜜小町という品種のさつまいもで作った焼き芋をたくさんの生徒が試食させていただき、そのおいしさに笑顔が広がっていました。福間さんのさつまいもだけでなく、地域と高校生とのつながりを地域や全国にPRする機会にもなりそうです。



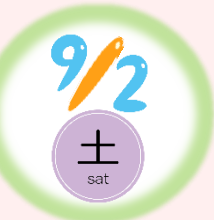
# 鵬雲祭



文化祭①



文化祭②



体育祭

今年のスローガンは…

## Restart ~新時代を築こう~

コロナウイルス感染症の制限が取り払われていく中、コロナ禍以前に戻すのではなく、新たな飯南高校の鵬雲祭を創造し、再スタートを切りたいという想いが籠められたスローガンです。(生徒会執行部)

### 8月の主な行事予定

- 8月 3日(木) 県外生サマーツアー (~5日)
- 4日(金) オープンハイスクール
- 11日(金) 閉寮 (正午~16日正午)  
閉寮日 (~16日 ※部活動なし)
- 22日(火) 始業式
- 31日(木) 鵬雲祭文化祭 (~9月1日)
- 9月 2日(土) 出校日 鵬雲祭体育祭
- 4日(月) 振替休業日 (9月2日)

※体育祭・振替休業日は、天候により延期になる場合があります。

7/24 月 (Monday)

ご協力よろしくお願いします!

### PTA環境整備活動

【時間】18:00~19:30

- \* 除草作業を中心として1時間半程度行います。
- \* 少雨決行ですが、雨天の場合や、猛暑等で中止になる場合は、スクールメール、ホームページにてお知らせします。